

「畜舎の悪臭防止と鳥インフルエンザ・豚熱対策」への 提案書

グルメアクションサービス株式会社

東京都千代田区神田須田町2-25GYB秋葉原414

製造元 株式会社有機・産業

静岡県御前崎市下朝比奈153-106

担当:緒方孝信

080-1024-8700

【はじめに】

養鶏場での鳥インフルエンザ蔓延で前期は2023年3月28日8時時点で1701万羽が殺処分されました。養鶏場の皆様のお気持ちは如何ばかりかとお察しします。

鶏卵の高騰・品不足をまねき、卵を原料とする二次製品の製造中止、飲食店ではメニューから卵料理の削除を余儀なくされるなど各方面で大問題になっています。

また、殺処分に携わった方々の精神的ダメージも大きいものになっています。

政府も様々な対応策を出してはいるものの根本的な解決策は見いだせていません。農林省は完全密閉型鶏舎を推薦していますが今シーズン中に完全密閉型鶏舎でも鳥インフルエンザは発生しています。また、鶏舎の分割管理も進めていますが根本解決にはなりません。

更に、日本だけでなく養鶏大国のアメリカを始め世界中で混乱しているのが現状です。最後まで安全だった養鶏大国ブラジルでも鳥インフルエンザが広がっています。

G7各国の獣医師や国際機関の代表らが出席した主席獣医官(CVO)フォーラムで「いまだ有効なワクチンが無い」と結論付けられました。(2023.9月21日東京都内開催)

しかし、唯一の対策が判明しました。当社が40年前から(鈴木牧場)の牛(700頭)の肉質改良と牛舎の悪臭防止のために研究開発し餌に0.3%混ぜている「グルメアクション」です。

中部大学の研究で鳥インフルエンザウイルスが減少し、中和抗体が増大することが解明されました。菌に対する抵抗力が大きいことが判明したのです。(マウスでの実験)

実検機関:中部大学

ウイルス株:A型インフルエンザウイルス(H5N3亜型 弱毒性)

投与サンプル:グルメアクション 株式会社有機・産業

実検体:BALB/Cマウス(雌6週齢)

サンプル群 A群 5匹 感染後ウイルス量の測定

サンプル群 B群 5匹 中和抗体価の測定

実験方法①ウイルス感染の7日前から感染後14日までの間、グルメアクションを1日2回
午前9時、午後6時に経口投与する。

②ウイルス感染は、マウスに麻酔下で経鼻接種する。

③感染3日後にマウスの肺からウイルス量を測定する。

④観戦14日後のマウスから気管支洗浄液及び血清の中和抗体価を測定する

測定結果①感染後3日後の肺ウイルス量

蒸留水を投与したマウスの肺ウイルス量

140×10/100mg

グルメアクションを10mg投与したマウスの肺ウイルス量 $31 \times 10 / 100 \text{mg}$
(78%減)

②感染後14日目の**気管支内の中和抗体量**

蒸留水を投与したマウスの気管支内の中和抗体 40(SD)
グルメアクションを10mg投与したマウスの中和抗体 120(SD)(300%増)

③感染後14日目の**血清中の中和抗体量**

蒸留水を投与したマウスの血清中の中和抗体 3800(SD)
グルメアクションを10mg投与したマウスの中和抗体 6500(SD)(171%増)

***グルメアクションの投与により、ウイルス量が減り、中和抗体が増大することが判明しました。**

【循環型酪農の構築】

40年前に自社の牛に与え、30年前からは大手の養豚場や養鶏場にも供給してきました。これらの畜舎には悪臭がありませんし、蠅の発生もありません。鳥インフルエンザの発生もみられません。また、各地の豚舎での豚熱も発生していません。

また、これら家畜からの糞を使用し、独自開発した「ホットクリーンM-1」で出来る堆肥で土づくりをすると、生育が早く、美味しくて酸化還元値の低い健康にいい野菜・果物・穀類等ができます。(例:メロンー220, バジルー470(通称ドクターバジル))など。

グルメアクション⇒畜舎の悪臭防止・鳥インフルエンザ、豚熱対策⇒鶏糞・豚糞⇒
高品質有機堆肥⇒ いい土づくり ⇒ 美味しい健康野菜
牛・馬の糞も同じように高品質堆肥になります。

【当社からの提案】

①飼料に「グルメアクション」を0.3%(1tonの飼料に3kg)を混ぜて食べさせる。それとともに飲用には良いを飲ませるとより良い結果が出ます。

それにより、ウイルス量が減少、鶏の中和抗体が増大し、「免疫力」が高まります。鳥インフルエンザに罹患しにくい体質になります。グルメアクションを与えている養鶏場では鶏インフルエンザが発生していません。

近日中にマウスではなくグルメアクションを餌に混ぜている鶏舎と、そうでない鶏舎の鶏で鳥インフルエンザの試験を行う予定です。結果が出次第報告いたします。

②「グルメアクション」の効果

i) 畜舎から悪臭がなくなり、蠅もなくなります。快適環境になった家畜は人に近寄ってきます。また、近隣の住人からの苦情が無くなります。|(統計によると苦情の54%が悪臭)

埼玉県の養鶏場で令和5年5月1日からグルメアクションを0.3%添加開始。5月25日には当養鶏場から悪臭がしなくなったと連絡がありました。当養鶏場では堆肥をつくる「ホットクリーンM-1」も導入。水分も殆どなく悪臭の無い最高の堆肥ができています。

「例年夏になると卵が小さくなり、産卵率も落ちるが今年はその傾向が見られない」と工場長

ii) 栄養吸収がよくなり早く育ちます。・・・飼料代・光熱費・手間の減少、資金回収が早まる
 自社(鈴木牧場で)生後出荷まで約25～26ヵ月(全国平均は30～35ヵ月)。25ヵ月で
 1000kgになった牛もいました。(肉質評価はA5-11)

iii) 肉質の改良で高値販売・・・当社の牛は良質な肉になり、平成9年度全国和牛能力共
 進会で連年優勝の松坂牛を抜き内閣総理大臣賞と農林水産大臣賞をダブル受賞。
 その後も農林水産大臣賞など高位の受賞が続いています。(添付資料)

鈴木牧場(牛700頭飼育)の評価:A5・A4ランク99%(全国平均55%)、うちA5ランク82%
 (全国平均20%)(添付資料)

グルメアクションを食べさせている牛や豚の肉をしゃぶしゃぶにした場合灰汁がでません。
 腸内の腐敗物質が激減していることがわかります。

iv) 死亡率の低下も顕著になっています

- ①牛(静岡県)・・・自社(鈴木牧場)での死亡は5年で1頭。
- ②鶏(埼玉県)・・・若鳥の死亡0.2%→0%。成鶏の死亡0.4%→0.2%
- ③鶏(静岡県)・・・30年間グルメアクションを使用しており死亡は本当に少ない。
- ④豚(愛知県)・・・7%だった死亡率が0.4%に減少

v) 免疫力がつくことにより鳥インフルエンザにかかるリスクが減少します。

* i)～v)を金銭に換算するとグルメアクション0.3%の費用を上回る効果も期待できます。

③家畜の糞を使用した堆肥作りは、農林水産省がすすめる”みどりの食品システム”にも沿
 っています。

鶏糞・牛糞・豚糞・馬糞などを堆肥にするには当社が開発した短時間で混合醗酵分
 解する「ホットクリーンM-1」がお奨めです。約一時間の早業です。1日10ton処理可能。
 ご自身の飼育している家畜の糞をお持ちいただければお試しいただけますのでご連絡く
 ださい。

この有機堆肥で土づくりをすると糞の臭いがしなくなります。また、生育が早く連作にも強
 い畑になり、美味しくて酸化還元値の低い健康的な野菜、果物、穀類などがとれるよう
 になります(添付資料)

④一般の人にもグルメアクションを3年前から差し上げて1日5g目安(小匙一杯位)に食
 べてもらっています。成分は動物のものと一緒です。食べやすくするための混ぜ物などは一
 切していません。ただ喉触りがいい様に粒を小さくして目の細かい篩でこしています。

尿をとってインドキシル硫酸測定値を測ってもらうと腸の中の腐敗物質産生の
 値がでてきます。株式会社ヘルスケアシステムズ(名古屋大学の研究室が独立した会
 社)での測定です。

この測定でも驚くデータがでてきました。一般平均とほぼ同じ41.3mg(平均値45.1
 mg)だった32歳の女性(東京都葛飾区)が一ヵ月後には1.1mgと驚きの改善をしました。こ
 れは特別いい例ですが、両親をはじめ友人などもよい結果が出て好評です。
 展示会の期間中本人が居ます。直接お聞きください。

人間用はまだ販売していません。ご希望があれば無償で送ります。 担当:緒方

